



うみこ 2018湖っ子食育大賞

大賞校決定！大津市立上田上小学校

滋賀県教育委員会では、児童生徒が正しい食事のとり方や望ましい食習慣を身に付けることができるよう、学校を中心に家庭・地域とも連携した食育を推進しています。

平成19年度に学校や園の特色を生かした優秀な食育の取組を表彰する「湖っ子食育大賞」が創設され、平成30年度は12年目となり、県内の学校・園から15校園の応募がありました。審査の結果、大賞は大津市立上田上小学校に決定しました。

また、今年度より新しく設けた特別テーマ部門「朝食摂取率向上に向けた取組」に応募された大津市立平野小学校が優秀賞に選ばれました。

～受賞校の概要～

大賞

大津市立上田上小学校

『学校内外での農業体験活動や地場産物を活用した調理体験活動を生かした地域ぐるみの食育の取組』をテーマに、小規模校でのよさを生かした全校児童での食育の取組が継続して実施されています。学校教育目標のめざす子ども像を育成するために食育農業教育の推進に取り組まれています。学校園・スクール農園を活用した農業体験や黄金（菜の花）漬けづくりや味噌づくりなど地場産物を活用した調理体験活動の取組を通して、地域の方々と連携した食育が行われています。また、エディブル・スクールヤードの活動家アリス＝ウォータースさんとの交流が行われました。

菜の花漬けをパックに詰めている様子。



地域の方々と味噌作りをしている様子。

優秀賞

特別テーマ部門

大津市立平野小学校

『くり返しくり返し、あの手この手で朝食指導！～家庭との連携に重点を置いて～』をテーマに朝食摂取率の向上に向けて、栄養教諭が中核となり、学級担任や養護教諭と連携しながら様々な機会をとらえて、朝食指導に学校全体で取り組まれました。

年2回、給食試食会と同時に「食育を学ぶ会」が開催され、学校での食育の様子や朝食の大切さを保護者へ知らせる機会を持たれています。また、「食育だより」や授業後のワークシートで、家庭と学校の双方向のつながりを大切に取り組まれています。

近江八幡市立島小学校

『野菜を育てて、みんなでおいしくいただく 地域とともに進めるエディブル・スクールの取組』をテーマに、全校児童での食育に取り組まれました。スクール農園や地域の田畑を活かした取組を通して、地域の伝統食を取り入れた食育を地域の方々とともに進めておられます。2年生は、「権座（ごんざ）」と呼ばれる水に囲まれた田畑でのサツマイモの栽培・収穫・調理体験、3年生は、地域に伝わる伝統の「ヨシちまき」作りの体験を地域の方々と一緒に取り組まれています。

日野町立日野小学校

『ふるさとの食文化を育てよう』をテーマに、食に関する指導の全体計画と年間指導計画に基づき、栄養教諭を中核とした食育の推進が行われています。地域の方々と連携して、学校内外の田畑で農業体験を積極的に行い、栽培から調理、食べるという一連の食育活動が行われています。3年生では、総合的な学習の時間に特産品である日野菜の学習が行われています。

また、PTAの活動では、「食」をテーマに、家庭の食事の重要性について保護者が学ぶ機会をもつようにされています。

日野町立桜谷小学校

『食べ物で自分で知る、仲間とつながる、地域を学ぶ～地域の良さや食の大切さを食育を通して学ぶ～』をテーマに、地域の方々と連携した栽培活動や調理体験を継続的に行っておられます。11月には、農作物の収穫に合わせて、全校児童が協力しながら、地域のお世話になった方々を招待する「森のレストラン」が開催されます。

この活動によって、食物を栽培し収穫することの喜びや地域の方々から先人の知恵を受け継ぐ大切さ、共食の喜びなど、多くのことを学ぶ機会となっています。

まるごと“おうみ”食育推進表彰式

2月5日（火）に滋賀県公館で開催された『まるごと“おうみ”食育推進表彰式』において、上記の5校が食育大賞および優秀賞を受賞されました。

表彰式終了後、「食育三行詩コンクール」の受賞者とともに記念撮影が行われました。



★副賞の記念品は、
信楽焼きです。
★お祝いの焼き海
苔がイメージされ
ています。



〈 湖っ子食育大賞 支援・協力 〉

公益財団法人 滋賀県学校給食会（副賞・表彰記念品制作）

県立信楽高等学校（表彰記念品制作）

（保健体育課 Tel 077-528-4614）